

KISSEI

証券コード：4547

決算補足資料

2021年3月期 第3四半期

2021年2月1日

 **キッセイ薬品工業株式会社**

目次

【四半期決算短信「経営成績に関する説明」より抜粋】	P 1
I. 連結損益計算書の推移	P 2
II. 主な医薬品の売上推移	P 3
III. 新薬開発状況（自社）	P 4
IV. 新薬開発状況（導出）	P 4

本資料記載の将来見通しは、既存の情報や様々な動向についてのキッセイ薬品による2021年2月時点での分析に基づいています。実際の業績は、事業に及ぼすリスクや不確定な事柄により見通しと異なることがあります。

【四半期決算短信「経営成績に関する説明」より抜粋】

・売上高の状況

医薬品事業の売上高は、44,463百万円（前年同期比10.4%増）となりました。新型コロナウイルス感染症の影響により限られた医薬情報活動となりましたが、腎性貧血治療薬「ダルベポエチン アルファBS注JCR」、過活動膀胱治療薬「ベオーバ錠」、高リン血症治療薬「ピートルチュアブル錠」及び「ピートル顆粒分包」などの売上が増加いたしましたことに加え、昨年4月に販売移管が行われました男性における夜間多尿による夜間頻尿治療薬「ミニリンメルトOD錠25µg/50µg」、夜尿症・中枢性尿崩症治療薬「ミニリンメルトOD錠60µg/120µg/240µg」及び「デスマブレシン製剤」、糖尿病治療薬「マリゼブ錠」の寄与などにより、増収となりました。

情報サービス事業の売上高は4,779百万円（前年同期比3.8%増）、建設請負事業の売上高は2,440百万円（前年同期比2.4%増）、物品販売事業の売上高は512百万円（前年同期比59.9%減）となりました。

・利益の状況

利益面では、売上原価率の上昇がありました一方、増収に加え、研究開発費を主に販売費及び一般管理費が減少いたしましたことなどにより、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は増益となりました。なお、特別利益として投資有価証券売却益を計上いたしております。

・研究開発の状況

研究開発におきましては、丸石製薬株式会社と共同開発を行っております透析患者におけるそう痒症治療薬MR13A9（開発番号、一般名：ジフェリケファリン）につきまして昨年、第Ⅲ相臨床試験を開始いたしました。また、ビフォー・フレゼニウス・メディカル・ケア・リーナル・ファーマ社（スイス）より技術導入いたしました顕微鏡的多発血管炎・多発血管炎性肉芽腫症治療薬CCX168（開発番号、一般名：アバコパン）につきましては、第Ⅲ相臨床試験が終了し、承認申請に向けた準備を進めております。

このほか、昨年10月には当社が創製いたしましたパーキンソン病治療薬KDT-3594（開発番号）につきまして、中国、台湾、香港、マカオ及び東南アジア6カ国（シンガポール、マレーシア、タイ、インドネシア、ベトナム、フィリピン）における独占的な開発権及び販売権等をアフアメドセラピューティクス社（香港）に許諾する契約を締結いたしました。

なお、当社が創製しオブシーバ社（スイス）に技術導出しております子宮筋腫・子宮内膜症治療薬リンザゴリクス（一般名、国内開発番号：KLH-2109、海外開発番号：OBE2109）につきましては、昨年11月に同社より、子宮筋腫を適応症として欧州医薬品庁（EMA）に承認申請が行われました。

I. 連結損益計算書の推移

(百万円)

項目	2020年3月期		2021年3月期			
	第3四半期 累計	通期	第3四半期 累計	前同比	通期予想	前期比
売上高	48,552	63,234	52,195	7.5%	68,000	7.5%
医薬品事業	40,288	51,308	44,463	10.4%	56,700	10.5%
医薬品	32,176	41,397	37,855	17.6%	48,500	17.2%
ヘルスケア食品	2,997	3,840	2,890	△3.6%	3,700	△3.6%
その他*	5,113	6,070	3,716	△27.3%	4,500	△25.9%
情報サービス事業	4,605	6,631	4,779	3.8%	7,000	5.6%
建設請負事業	2,381	3,610	2,440	2.4%	3,700	2.5%
物品販売事業	1,277	1,684	512	△59.9%	600	△64.4%
(売上高のうち輸出)	(4,542)	(5,731)	(3,628)	(△20.1%)	(4,500)	(△21.5%)
売上原価	20,753	28,328	26,677	28.5%	36,200	27.8%
(原価率%)	(42.7)	(44.8)	(51.1)		(53.2)	
売上総利益	27,799	34,905	25,517	△8.2%	31,800	△8.9%
販売費及び一般管理費	25,060	33,048	22,327	△10.9%	31,000	△6.2%
研究開発費	8,053	10,767	6,422	△20.3%	10,000	△7.1%
(売上高比%)	(16.6)	(17.0)	(12.3)		(14.7)	
営業利益	2,739	1,857	3,190	16.5%	800	△56.9%
営業外収益	1,154	1,430	1,436	24.4%	1,400	△2.1%
受取利息及び配当金	1,050	1,227	1,091	3.9%		
その他の収益	103	203	344	232.8%		
営業外費用	60	859	55	△8.4%	100	△88.4%
支払利息	17	23	17	△0.8%		
その他の費用	43	835	38	△11.5%		
経常利益	3,832	2,429	4,570	19.3%	2,100	△13.5%
特別利益	977	2,264	4,083	317.7%	4,050	78.9%
特別損失	17	62	83	386.0%	50	△19.4%
税金等調整前四半期(当期)純利益	4,793	4,630	8,570	78.8%	6,100	31.7%
法人税、住民税及び事業税	684	390	1,629	137.9%	1,500	284.6%
法人税等調整額	514	1,351	450	△12.4%	△20	-
非支配株主に帰属する 四半期(当期)純利益	50	71	50	△1.5%	20	△71.8%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	3,542	2,817	6,440	81.8%	4,600	63.3%

(包括利益) (14,093) (12,646) (24,152) (71.4%)

* : 国内販売提携先供給額、技術料売上(導出テーマに係る契約金、マイルストーン収入、ランニングロイヤリティ)の合計額

Ⅱ. 主な医薬品の売上推移

(百万円)

製品名	2020年3月期		2021年3月期			
	第3四半期 累計	通期	第3四半期 累計	前同比	通期予想	前期比
過活動膀胱治療薬 ハオーバ	1,954	3,185	5,241	168.2%	7,000	119.8%
デスモプレシン製剤 ミニリンメルト、他*	-	-	2,651	-	3,900	-
排尿障害改善薬 ユリーフ	4,919	5,857	2,976	△39.5%	3,700	△36.8%
高リン血症治療薬 ピートル	4,526	5,752	4,643	2.6%	6,400	11.3%
腎性貧血治療薬 ダルベポエチン アルファBS注JCR	166	812	4,216	-	4,700	478.8%
腎性貧血治療薬 エポエチンアルファBS注JCR	4,531	5,520	3,496	△22.8%	4,000	△27.5%
糖尿病治療薬 グルベス	3,589	4,501	3,373	△6.0%	4,400	△2.2%
糖尿病治療薬 グルファスト	1,129	1,406	932	△17.5%	1,100	△21.8%
糖尿病治療薬 マリゼブ	-	-	1,234	-	1,800	-
口腔乾燥症状改善薬 サラジェン	1,287	1,604	1,217	△5.4%	1,570	△2.1%
潰瘍性大腸炎治療薬 レクタブル	595	756	633	6.2%	820	8.5%
高脂血症治療薬 ヘザトール	1,106	1,364	852	△22.9%	1,060	△22.3%

* : ミニリンメルトOD錠25μg/50μg/60μg/120μg/240μg、デスモプレシン点鼻液0.01%協和、デスモプレシン・スプレー2.5協和/10協和、デスモプレシン注4協和

Ⅲ. 新薬開発状況（自社）

(2021年2月現在)

開発段階	開発番号 (一般名)	開発区分	予定適応症	主な作用等	備考
申請準備中	CCX168 (アバコバン)	導入品/ピフオー・フレゼニ ウス・メディカル・ケア・ リーナル・ファーマ(スイス)	顕微鏡的多発血管炎、 多発血管炎性肉芽腫症	補体C5a受容体阻害作用	
第Ⅲ相	KPS-0373 (ロバチレリン)	導入品/塩野義製薬	脊髄小脳変性症	甲状腺刺激ホルモン放出 ホルモン(TRH)作用	第Ⅲ相臨床試験終了 PMDAと協議中
	AJM300 (カコテグラストメチル)	導入品/EAファーマ 共同開発	潰瘍性大腸炎	α4インテグリン阻害作用	主要評価項目達成
	R788 (ホスタマチニブ)	導入品/ライジエルファーマ シューティカルズ(アメリカ)	慢性特発性血小板 減少性紫斑病	チロシンキナーゼ阻害作用	
	MR13A9 (ジフェリケファリン)	導入品/丸石製薬 共同開発	透析患者における そう痒症	κオピオイド受容体刺激作用	
第Ⅱ相	KLH-2109 (リンザゴリクス)	創製品	子宮内膜症	GnRHアンタゴニスト	
	KDT-3594	創製品	パーキンソン病	ドパミン受容体刺激作用	

※ 前回公表時（2020年11月）からの変更点：アバコバン … 第Ⅲ相 → 申請準備中

Ⅳ. 新薬開発状況（導出）

(2021年2月現在)

開発段階	一般名	提携企業	国・地域	予定適応症	主な作用等
承認申請中	ミチグリニド (mitiglinide)	イーザイ(日本)	ベトナム	2型糖尿病	速効・短時間型 インスリン分泌促進作用
	シロドシン (silodosin)	イーザイ(日本)	ラオス、ベトナム	前立腺肥大症に伴う排尿障害	α1Aアドレナリン受容体 拮抗作用
	リンザゴリクス (linzagolix)	オブシーバ(スイス)	欧州	子宮筋腫	GnRHアンタゴニスト
第Ⅲ相	リンザゴリクス (linzagolix)	オブシーバ(スイス)	米国	子宮筋腫	GnRHアンタゴニスト
	リンザゴリクス (linzagolix)	オブシーバ(スイス)	欧州、米国	子宮内膜症	GnRHアンタゴニスト
第Ⅱ相	ベドラドリン (bedoradrine)	メディシノバ(アメリカ)	米国	喘息の急性発作	β2アドレナリン受容体 刺激作用

※ 前回公表時（2020年11月）からの変更点：リンザゴリクス（欧州） … 第Ⅲ相 → 承認申請中